

令和3年度 第1回精華町町民健康づくり推進協議会 議事録要旨

1. 開会の日時 令和3年10月19日(火)14時00分～15時30分

2. 会議次第

あいさつ

・健康福祉環境部長

議事

(1) 令和3年度健康増進計画進捗状況について

① 重点的取組に対する進捗状況について

② 基本目標の進捗状況について

③ 新規事業等について

(2) 意見交換

次回会議日程

閉会

資料1 精華町町民健康づくり推進協議会設置規則

資料2 精華町町民健康づくり推進協議会委員名簿

資料3 重点的取組に対する実施状況

資料4 基本目標進捗状況

資料5 新規事業①「精華町子育て支援アプリ(母子モ)」について

資料6 新規事業②「精華町後期高齢者歯科健診(75歳お口の健診)」について

資料7 食生活改善推進員(あすなろ会)養成講座について

参考資料: ① 令和2年度せいか365活動報告

② 令和3年度せいか365活動計画

3. 出席した委員 三沢 あき子委員 岸田 秀樹委員 内田 裕也委員
長谷川 悟委員 岡田 敦子委員 酒井 喜代美委員
森島 秀行委員 東 あかね委員 中村 勝信委員
久古 朋子委員 福井 彩乃委員

4. 欠席した委員 田中 智美委員 北 安代委員 村上 栄委員 井上 茂委員
田尻 儀久委員

5. 傍聴者 なし

・健康福祉環境部長あいさつ

・議事

(1) 令和3年度健康増進計画進捗状況について

(2) 意見交換

事務局 説明 配布資料	資料3	重点的取組に対する実施状況
	資料4	基本目標進捗状況
	資料5	新規事業①「精華町子育て支援アプリ(母子モ)」について
	資料6	新規事業②「精華町後期高齢者歯科診(75歳お口の健診)」について
	資料7	食生活改善推進員(あすなる会)養成講座について

(議長)

オーラルフレイルという診断というのはどんな風にされるのかこの事業どのように評価されているのか。

(内田委員)

まずオーラルフレイル、フレイルということで、体の虚弱ということで例えば体重が減った、筋力が弱くなった、疲れやすくなった、体を動かすのが減った、という体の虚弱といったことが高齢者に多い。トレーニング等体を動かすことで元に戻る状態なのでそれをできるだけ改善することによって健康寿命を延ばす。それに、先立って、オーラルフレイルと言って、食事が食べにくい、むせる、口が乾く、口の機能低下が起こってくるのがフレイル。それに対して、まず第一として75歳後期高齢者を迎えられた方に、口腔内の健診をしましょうと今年9月から予約を開始しました、オーラルフレイルの疑いある人対象で、口のなかの何をみましようというまず、噛める歯が整っているか口のなかの乾燥、舌の状態、発音、噛めているか、歯周病があるか、誤嚥がないか筋肉の動きなどで検査している。むせていたら筋肉のトレーニング飲み込めるように筋肉の使い方であるとか、飲み込みの仕方であるとかを認識していただきましようということです。現

状コロナ禍のなか、歯科医師会のなかでは重点的に感染しない、させない飛沫感染予防、スタッフ間の予防、歯科医院から感染する可能性はまずない。去年は歯科医院はかなり危ないとマスコミ等と言われ、口腔の検診に来られていた方が来られなくなって状態が悪くなるということがありましたので、できるだけ早い段階で治療を進めていきましょう。ご安心して来ていただけたらと思います。

(議長)

高齢者特定健診でオーラルフレイルの方は2人となっていますが、何人中2人ですか？

(事務局)

9月の時点で29の方が対象になっている。歯科衛生士さんに聞き取りや、面談をしてもらって、その方にかかりつけ医がなかったり口腔検査をして判断してもらって必要であれば検診をご案内させていただいております。

(議長)

29人のうち2人ですか、今までなら歯の数とか入れ歯とかそういうところに注目していましたが、今は食べるとか総合的に食べる、噛むとかみていただいて咀嚼等の改善をさせるということですね。ありがとうございました。他にご質問ありますか？

(岸田委員)

新しい試みで楽しみです、3カ月おきに 保健指導とかチェックが入るとかはあるんですか？

(内田委員)

かかりつけの歯科医院のほうであれば定期的にチェックしてくださいねという案内をしたり、今かかりつけで来ていただいている方はまた3カ月後にチェックしましょうねというような声かけをするような形をとっております。

(議長)

新規事業、子育て支援アプリ(母子モ) についてはご質問ありますか？登録者の人は、242人どんな人を対象にどれぐらい登録されたんですか？6歳未満のお子さんがいらっしゃる家庭ですか？

(事務局)

登録者は精華町民の方です。妊娠届出時、乳幼児健診の際に母子モのチラシを

配布させていただいているので、比較的对象者の方にご登録いただいている形になっています。

(議長)

それでは、こちらでご登録された方はいらっしゃいますか？登録されて利用されたお話とかお聞かせください。

(福井委員)

最近登録をしました、全部の機能を使いこなせていませんが、予防接種のお知らせ、次の予防接種の連絡や通知が来る機能を使っています。一つ不満、めんどくさいと思う事は、アプリの登録の際に母子手帳の情報をすべて手入力でしなければならない点です。子供いながら細かい作業がはかどらないため全部の情報を母子モに入力できていない部分もあります。

(議長)

どうもありがとうございました。これにつきましては小児科医でもあられます所長の三沢先生、ご発言とかございますか？

(三沢委員)

紙の母子手帳から変えてゆく方向なのか。

(事務局)

すべて紙媒体というわけにはいかないのですが、両方使っていただく形にはなってくると思います。マイナンバーで予防接種の履歴であるとか、そのあたりは見れるようになっていきますので、アプリとマイナンバー、というのも今後整理されていけばいいと思います。紙とアプリで併用していただけたら。アプリの通知機能で、健診の中止や、健診のリマインドメール等があるので案内を電子化していけるというような見通しもあります。

(三沢委員)

一年間の妊婦登録の数は全体の割合的いうとどれぐらいですか。

(事務局)

近年の出生数は200前後、6歳までと考えると1,200人ですが、すでに子供が成人していても18歳でも利用できる、親世代となったり風しん等での他の成人向け予防接種にも対応でき、対象の年齢をどこに置かかというところによっては変わりますが、予防接種等の履歴管理にも使用していただけます。ご自身の母子手帳、お子さんの管

理にも使っていただけると考えております。

(議長)

利用者が増えていくように努力していただきたい。予防接種受けているかどうか把握するのは一生涯必要なことなので、紙媒体の手帳の管理と、アプリと併用していけばよい。

(三沢委員)

がん検診の受診率が下がっている事と、特定保健指導の実施率が上がっていることについてどのように評価しているか。

(事務局)

がん検診の実績につきましては、これは令和2年度ということでコロナの影響を受けております。精華町では集団で検診してますが、来ていただける人数であったり、コロナ禍の影響があり、なかなか検診できない状況だったので、すべての検診を見てみると全体的に8%ぐらいは前年(元年)より下がっている。特定検診の結果につきましては資料に掲載されているデータは元年度の実績になるのでコロナの影響を受けていない受診率になります。コロナ禍の部分につきましては先ほども報告させていただきましたが、個別で丁寧に行い、集団での教室スタイルでの保健指導は、できない状況にありましたが、対面式であったり電話であったりメールでも行う等、丁寧に対応させていただいている。令和2年度のデータを見ると特定健診のほうはコロナの影響をうけて受診率は下がっている。

(三沢委員)

先ほど母子保健のことで、パパママ教室をオンラインと直接参加のハイブリッド型を実施してどうだったか。withコロナで、オンラインが当たり前になっているという状況だと思うがオンラインになじむ物とそうでない物があると思うが実施してみてどうだったか。

(事務局)

実際参加される方は参加者同士で繋がりをつくるきっかけにもなりました。オンラインのメリットとしては里帰り先から参加できるという部分も、大きなメリットの一つだと感じています。里帰りで参加される方と実際参加される母親同士が繋がれるようなお話をする時間を設定したりして、色々な参加方法があるので色々な状況から参加できるということが良いことだと感じました。

(福井委員)

私は子育て中で、6歳と3歳のこどもがいるが、3歳のこどもは母親がパソコンとか携帯でオンラインをすると、遊びたがるのでオンラインは親が説明を受けて教室を聞くとするのは難しいかもしれないです。そのため私は参加できていませんでした。

(議長)

ありがとうございます。その時間中は託児等、誰かに見ておいてもらわないといけないですね。今は重点取組についてお話いただきましたが、次は基本目標についても質問とかご意見とかございますか？

(三沢委員)

がん検診受診率は、実施しなかったから受診者が少なかったのか実施したが受診者が少なかったのか両方ですか？

(事務局)

実施はしたが、当初予定していた春先に緊急事態宣言が発令された関係で秋にずれこんでしまった。定員は何人と設けているわけではないので受診希望者には全て受けていただく予定だったが、実施時期がずれ込んでしまったこともあり受けていただく方が少なかった。

(議長)

がん検診の受診率が低下したことによって本来なら検診で早期発見できるがんが発見できずに手遅れになるがんが出てくる可能性があると言われていています。がん検診に行ってもコロナに感染する危険性はあまりないと思うので、みなさんも検診を受けていただいて、早期発見していただくようお願いいたします。

(久古委員)

先ほど3歳6カ月検診で、生活リズムを整えることの大切さをお知らせしているということだが、現実問題ネット環境をとることがなかなか難しいと思います。特に今の子どもたちはそういう社会で生きていかなければならない。最近聞いた話で、そういう社会と上手に付き合っていくということが求められますが、子どもたちのテレビやゲームのおしまいがなかなかコントロールすることは難しいということなので「おしまい」の練習をすることがインターネットと上手に付き合っていく第一段階で、子どもが小さいときほど言うことを聞くので将来のコントロールがしやすくなる。物事を取り上げるようなことはしない方が良い。おしまいができれば、ご褒美にシールをあげる等、次の楽しみや良いことを上手に見せるということがおかあさんにとってはやりやすいのではないかと思います。おしまいのハードルも下るのではないかと。

(議長)

お片付けというのは知っていますが、おしまいの練習をするということは初めて聞きまして、おしりを決めるっていうことですね。30分たったらおしまいにしましょうね、きちんと終われるように練習するということですか？

(久古委員)

そうですね、おしまいした後におやつの時間を設けるであるとかおしまいにしてもその次に楽しいことがあったり、あとは次にできるのはいつと保証してあげる。親の機嫌で取り上げるようなことをすれば、子どもからすれば次にいつできるのかわからなくなり不安になるのでそこをきっちりクリアしていく必要があるということを知りました。

(議長)

それは誰からおしまいの練習をしましょうっていうのを聞いたのですか。

(久古委員)

吉川徹先生という児童精神科医の方です。ネットどうまく付き合っていきましょうということをテーマに講演されている先生です。

(議長)

おしまいの練習っていうのも、言い換えれば、期日とか終わる時間とか、締め切りとかそれを守るっていうことと共通していると思います。これは全ての分野において大切なことかな、と今気づきました。

(長谷川委員)

この計画の評価の表ですが、この中に先ほど説明があったと思いますが、がん検診の受診率について、胃がん子宮がん乳がん肺がん大腸がんそれは平成2年度はコロナの関係で低下しておりますけども、平成3年度はどんな傾向ですか。

(事務局)

令和3年度の集団がん検診は令和元年度と比べ少し減っており、同じような数値となっています。

(長谷川委員)

先ほど議長も言われたように、がん検診率が低いと予防ができなくて、がん等で死亡される方が多いということを報道で知りました。平成3年度、平成4年度については

がん検診についても重点項目に置いてもらって、全員が受けて予防してもらいたい、という意見です。

(議長)

計画の評価の表の続きで私から質問させていただきます。高血圧の割合であるとか、収縮期血圧の平均値が現状より悪化しているのはどんなことが原因が考えられるでしょうか？

(事務局)

精華町の特定健診なので、国民健康保険の対象者の方が受診されております。やはり精華町では脂質異常の方が割合多くおられるということが傾向にありますので、メタボリックシンドロームの予防ということで特定保健指導のほうに力を入れておりまして、面談ができなかったとしても、電話だったり訪問だったりでお会いして直接保健師のほうから結果等返すという形をしております。メタボリックシンドロームの予防であったり、生活習慣病の予防というのに対策を重点的にしております。国保の医療費のなかの10位のなかには高血圧、高脂血症とか血糖値というのが入っておりますので、今後施策とかっていうのも検討していかなければと思っております。

(議長)

私が質問したいのは何で高血圧の血圧の収縮の平均値が上昇傾向にあるのか、どういことが思い当たるのかということをお尋ねしたいです。

(岸田委員)

血圧も上がっていますが、誤差の範囲っていうのもあるのかなと思います。正直そこまで気にしなくてもいいのかなと思います。

(議長)

よく見たら、LDL コレステロールの高い160以上の人の割合は男女ともに改善してきます。平均値が5ミリ上がったら、これが脳卒中がどれくらい増えるのか。私は受診者が高齢化してるのかなと思うんですが。

(岸田委員)

それはあるかと思えます。

(事務局)

精華町の人口の17%ぐらいの方が国保に加入されていて、多くは皆さんご想像の

通りなんですけど自営業で若い方というよりは、退職後、後期高齢になるまでの間に加入されるという状況になりますのでそのあたりで国保加入者の全体の年齢みたいなのを比較してみると、血圧のそのちょっとした微妙な上がりと、受けている方の平均年齢とかと相関関係がある可能性は高いのかなと想定できるというところでございます。

(議長)

悪化しているのであれば、どうして悪化したのかなとかそういう要因をきちんと知っておくのは大切かなと思います。

他に、基本目標として新規事業、食生活改善推進員あすなろ会の養成講座が3回を4回に回数を増やして開催できたとご説明をいただきましたがそれについてはなにか追加はございませんか？

(事務局)

規定の教育時間が決まっている中で、これまでは、1日3時間半を9日受けていただくという形でおこなっておりましたが、極力皆さんが出会っていただく回数を少なくするためということで、一日8時間の講習をさせていただいたので、4日間に縮めさせていただいたというような状況でございます。

(議長)

ありがとうございました。全体での応募はどれぐらいいったでしょう。

(事務局)

通常はこれまで20名程度で募集を行ってきました。今は感染対策ということで8名～12名の募集をかけましたところ、9名の受講という形になりました。

(議長)

皆さんが各会の代表としてご参加いただいておりますので、この一年間、新型コロナウイルス感染症の防止等について個人としてどのような取り組みをされたかとか、団体としてどのような取り組みをされたかお話しいただければそれを共有して、また今後の参考にさせていただきますので、お話しいただけますか。

(中村委員)

野菜カフェレストランというのを主催しております。このたび1年経って、それからすぐコロナ禍に入ってしまったんですが、毎週1回水曜日の午前中に活動してて、1回も欠かすことなく活動は継続している。野菜が全てで、耕作地を耕しています。参加者はたいてい5、6人なんですけど、継続するのは大切かなと思っています。その中で病気にな

られる方もおられますけどその方にも収穫した野菜は届けて、生活を継続していくと。今年の秋の収穫祭は難しいと思いますけども、来年くらいに向けてもうちょっと活動が表面に出ていくような機会だと思っています。皆さん元気です。

(岡田委員)

コロナでいろいろ大変な中で、住民サービスを展開するのは大変だと思います。その中で高齢者の歯科健診であったり新しい事業も取り入れて、大変な中でも頑張っておられるということを改めて認識しました。

(議長)

この頃、子どもさんの自殺であるとか虐待、いじめもこのコロナで増えてきているというのが報道されていますが、精華町ではそういった声とかあまりないのでしょうか。

(岡田委員)

コロナの影響で民生委員の定例会議とか情報交換とかがほとんど無い状況です。したがって、お互いの情報交換もないような中で、そういう虐待とか情報をもらう機会があまりないというのが現状です。

そういった中で高齢者への家庭訪問等、個々の対応は変わらずやっているという状況です。

(議長)

ありがとうございます。

(酒井委員)

私たちが去年は全然活動できませんでした。府のほうから男性の料理教室とか親子クッキングとか高齢者サロンの活用等の資料がいろいろおりてくるんですけども、それはみんな男性のお料理も親子クッキングも高齢者サロンも会員の家でやりました。料理実習を開きたかったのもそのようにしました。高齢者の方に手作りのお菓子なんかも持って行っていましたけど、それもできなくて市販のものを袋に詰めて一つずつ渡すとか、マスクを渡すとかそういう風な形で実施させていただきました。やっと出来るようになりましたので安心しております。

(議長)

ありがとうございます。

2回目の会議ですが2月1日の火曜日14:00から開催させていただきたいと思えます。

それでは今日の会議は終了いたしました。

(上野課長)

東会長、円滑な議事進行、どうもありがとうございました。また、本日の議事内容に関して、十分な時間を、おとりすることができませんでしたので、ご発言いただけなかったご意見などがございましたら、任意の様式で結構ですので、事務局までご提出いただけたらと思います。

それでは、これをもちまして、第1回精華町町民健康づくり推進協議会を閉会とさせていただきます。